

市立学校の校歌を着うたに!

平成21年3月3日(火)より13校配信スタートしました

「校歌着うた®」のダウンロード販売価格(2009年3月1日現在)

	利用料	備考
au	1曲:105円 別途会員費 105円/月	※料金体系(プラン)によっては他にパケット通信料がかかります。
NTTドコモ	30ポイントコース: 315円/月 50ポイントコース: 525円/月 参考: 着うたフル®: 1曲20ポイント 着うた®: 1曲10ポイント	※docomoのみ「着うたフル®」も配信 ※料金体系(プラン)によっては他にパケット通信料がかかります。
ソフトバンクモバイル	30ポイントコース: 315円/月 50ポイントコース: 525円/月 参考: 1曲10ポイント	※料金体系(プラン)によっては他にパケット通信料がかかります。

市では、小中学生のみならず、市民のみならず、子どもたちにも深く、また、身近な存在である校歌を着うた®および着うたフル®として配信しています。これは、県内外にいる那覇市にゆかりのある方々へ配信し、市への愛着を高めるとともに、市の芸能・文化など、地域に当たり前のようにある宝物を知的財産として活用する地域活性化に向けた、初の試みです。

【事業目的】
市民の愛着の向上、知的財産に関する意識啓発を目的としています。

このように、知的財産に関する啓発的な取り組みは、地域コミュニティの活性化、ひいては地域力の向上が図られ、本市の大きな目標である「協働によるまちづくり」に資することを期待するものです。

【校歌を有料配信】
販売場所・携帯電話着うたサイト・沖縄ちゅらサウンドズにて販売

【第一弾配信校・13校】
○小学校
安謝、城東、城北、城西、識名、曙、真地

○中学校
上山、古蔵、小禄、城北、松城、仲井真

【配信まわし】
○校歌を作詞作曲した方の許可が必要
市では、着うた®および着うたフル®として活用するにあたり、著作権者の方々より許可を得ました。

【原盤の作成】
小中学校では賛同を頂き、先生や生徒のみなさんが演奏や合唱を行ってもらい、原盤を作成しました。

【調査にご協力を】
校歌着うた®では、著作権者(作詞者および作曲者など)から校歌の利用について許諾を頂き、市が活用

制定年が古い校歌ほど、著作権者本人またはご家族などの連絡先についての情報が不足しています。

「著作権者の資料や連絡先、本人について知っている、または聞いたことがある」などの情報をお寄せください。

お問い合わせ
経営企画室
☎862-9937



入院に係る医療費の助成対象が中学生まで拡大されます

市では、少年期の子育て家庭の支援を行い、明るく健やかな子どもを地域で育てるため、平成21年4月入院分からお子さんの医療費の助成対象を、現行の小学校就学前から中学校卒業まで年齢を拡大して助成します。

これは、保護者の負担が大きい入院費の助成の対象を拡大することにより、子どもの健全育成、少子化対策などの重要な事業である

沖縄 Okinawa Cyura Sounds ちゅらサウンドズ
http://cyura.com



市では、少年期の子育て家庭の支援を行い、明るく健やかな子どもを地域で育てるため、平成21年4月入院分からお子さんの医療費の助成対象を、現行の小学校就学前から中学校卒業まで年齢を拡大して助成します。

これは、保護者の負担が大きい入院費の助成の対象を拡大することにより、子どもの健全育成、少子化対策などの重要な事業である

と考へ、市の単独事業として実施し、名称もこれまでの「那覇市乳幼児医療費助成」が「那覇市こども医療費助成」に変わります。

◇助成を受けられる方(入院)

- 市内に住所を有している中学校3年生までの子ども
- 国民健康保険などの医療保険加入者
- 児童手当法に準ずる所得制限内であること
- *但し、生活保護など、他の制度で助成を受けている方は除きます。

◇申請に必要なもの

- 子どもが加入している健康保険証
- 保護者の預金通帳(ゆうちょ銀行以外)

○印鑑(認印で可)

○領収書

○転入者については、前住所地からの「児童手当用所得証明書」が必要な場合があります。

*入院があった時には、資格申請などの手続きが必要となります。

お問い合わせ
子育て応援課
☎867-0111
(内線2599・2523)



交通事故死ゼロを目指しましょう

交通事故発生の抑止を目的に、平成21年春の全国交通安全運動が4月6日(月)から15日(水)までの10日間「ゆとりもち 左右の確認 今一度」をスローガンに実施されます。

<運動の重点>

1. 運動の基本 子どもと高齢者の交通事故防止
2. 全国重点
 - 飲酒運転の根絶
 - 全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底
 - 自転車の安全利用の推進
3. 地域重点
 - 二輪車の交通事故防止



平成20年中の市内の交通事故発生件数は、前年より減少していますが重傷者数は増加しています。また、飲酒運転で検挙される者も減少はしていますが、県内の交通死亡事故のうち、飲酒絡みの事故が占める割合は14年連続ワーストとなっています。

新入学期を迎えるこの時期、不慣れな通学路を登校する新1年生の黄色いランドセルを目にした時や、紅葉マークの運転者、反射材を付けた高齢者を見かけた時は思いやりといたわりの気持ちを持った運転を心がけましょう。

私たち1人ひとりが交通安全の意識を強く持ち、「交通事故死ゼロの那覇市」を目指し、市民のみなさまのご理解とご協力をお願いします。

お問い合わせ 市民協働推進課 ☎862-9955

毎月1日、20日はノーマイカーデーです。おでかけにはなるべくバス・タクシー・モノレールをご利用ください。

I ♥ EX

外国為替をもっと身近に

外為どっとコム